

# 1月の園だより

社会福祉法人のぞみの会  
大塚保育園  
大塚子どもふれあい館  
園長 石坂 芳  
令和6年1月4日発行 No.490

あけましておめでとうございます。

正月行事には、三が日(1日～3日)は初日の出・初詣・初夢、松の内(門松しめ縄飾りを飾る期間15日位迄)は七草粥・鏡開き・どんど焼き等様々な事があります。またお正月の食事はおせち料理やお雑煮などです。なんとなく時間が過ぎてしまうことが多いお正月、いつも出来ていなかったことに、お子さんと一緒に挑戦してみるのもいいかもしれませんね。

さて、令和6年度も残り3か月になりました。園では7年度に向けて、幼児3クラスから4クラス編成を計画、昨年暮れから本園多目的室の改装工事を進めております。この先、在園児の幼児4クラス替え等、新年度への移行準備期間になります。また卒園児が小学校へスムーズに入学以降出来るように、準備や環境整備を進めてまいります。今年も、職員一同頑張っていきたいと思っております。保護者の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

園長

- 7日(火) うたのじかん
- 15日(水) 乳児検診  
体操のじかん〔ひかり〕
- 16日(木) リトミック〔にじ・そら〕
- 21日(火) うたのじかん
- 22日(水) 体操のじかん〔そら〕



- 23日(木) うさぎ組・つき組懇談会  
リトミック〔そら・ひかり〕
- 24日(金) 誕生会
- 29日(水) 体操のじかん〔にじ〕
- 30日(木) リトミック〔ひかり・にじ〕
- 31日(金) 節分

## モンテッソーリ教育の考え方



先月まで園だよりでシリーズでお伝えしていましたが、今回は、乳幼児期のこどもに見られる「自ら育つ力(自己教育力)」について見ていきましょう。この力を信じ、ガイドすることこそがモンテッソーリ教育のベースといえます。

### 《自ら育つ力(自己教育力)》

誕生の瞬間から、赤ちゃんは周囲の情報や体験のすべてを介して世界を探ろうとし始めます。自立・自律を目指し、周りの人々とコミュニケーションを取ろうとし、手を使い、目の前の活動に集中し、何度も何度も同じ動作を繰り返す。こうして、こどもたちは誰に教えられることもなく自ら発達していくのです。モンテッソーリ教育では、発達段階や欲求に応じた適切な環境があれば、こどもは自ら発達することができると考えられており、これを「自己教育力」と呼びます。さらに、特に0～6歳のこどもたちは以下2つの特殊な学び方を持つと考えられています。

### 《吸収する精神》

マリア・モンテッソーリは、0～6歳ごろのこどもたちが周囲の情報を何でも吸収することができる「吸収する精神(absorbent mind)」を持っていることを見出しました。この力によって、こどもたちは自分が生まれた世界に適応し、個としての自分をつくっていくことができるのです。「誕生からの6年間、こどもたちは努力しなくても楽しく学ぶことができる」というマリア・モンテッソーリの言葉の通り、こどもたちは生活を通じ、自分が生まれた場所や時代の文化、言語、習慣といった情報をつねに吸収しています。中でも0～3歳のこどもたちは無意識的にこの力を発揮しており、良いことも悪いことも選別なしに吸収していきます。一方3～6歳のこどもたちは、自分が獲得したいことを尋ねたり考えたりするなど、意識的に周囲の情報を吸収するようになります。

### 《敏感期》

敏感期とは、特に0～6歳の間に見られる特定の力を獲得しようと強いエネルギーが出る限られた時期のことです。敏感期には「運動、言語、感覚、秩序、社会性、小さいもの」という6種類があると考えられており、それぞれ異なる時期に現れ、一定の時期を超えると徐々に消失していくというのが特徴です。その時に見られるこどもの姿や時期について見ていきましょう。(※年齢はおおよその目安です。)

#### 【6つの敏感期】

##### 言語の敏感期

- 【時期】胎内～6歳前後
- 【役割】言語の力を獲得する。
- 【特徴】話す、書く、読むなど、言語に対し強い興味を示す。

##### 運動の敏感期

- 【時期】10ヶ月～4歳前
- 【役割】大きな動き(粗大運動)と小さな動き(微細運動)を獲得する。
- 【特徴】身体や手を使って「動きたい」という強い衝動を見せる。

##### 感覚の敏感期

- 【時期】胎内～4歳半前後
- 【役割】感覚器官を洗練させ、情報を識別する力を獲得する。
- 【特徴】触る、嗅ぐ、味わう、見る、聞くなど、五感を使うことへの欲求を見せる。

##### 秩序の敏感期

- 【時期】0歳～4歳前後
- 【役割】自分がいる環境の秩序を獲得し、環境に適応していく。
- 【特徴】「いつも同じであること」に強いこだわりを示す。

##### 社会性の敏感期

- 【時期】2歳半～6歳前後
- 【役割】自分がいる環境の慣習やマナーなどを知り、環境に適応していく。
- 【特徴】周囲の人とかかわったり、ルールを知ることへの欲求を見せる。

##### 小さいものへの敏感期

- 【時期】1歳半～3歳前後
- 【役割】観察する力を獲得していく。
- 【特徴】小さいものを見つけたり、拾いたがったりする。

敏感期	
種類	役割
言語	言語の力を獲得する
運動	大きな動きと小さな動きを獲得する
感覚	感覚器官を洗練させ、情報を識別する力を獲得する
秩序	自分がいる環境の秩序を獲得し、環境に適応する
社会性	自分がいる環境の慣習やマナーなどを知り、環境に適応する
小さいもの	観察する力を獲得する

## クラスコラム

### つきぐみ

お友だちとの関わりが増えてきたつきぐみさん。少しずつイメージの共有ができるようになってきたり、お子さんたち同士で会話をしながらあそべるようになってきています。



ここが火事ね!!

ウー!!!  
消防車です★

### 幼児クラス

チューリップの球根を植えました! 来春年長になる赤帽子が、春に向けて球根植えを行いました。チューリップも、皆も、大きくなるのが楽しみです。



氷作りをしました! カップ容器に、水と散歩先で拾った落ち葉や木の葉を入れ、毎朝凍っているか確認していました。寒くなる事が楽しみな子ども達。「アイスみたい!」と喜んでいました。



### うさぎぐみ

うさぎ組に斜面登り下りブーム到来!!



時々、斜面に並んで寝て日向ぼっこも楽しんでいます

下では、先生がキャッチしてくれるから安心して滑れるよ~!

### サンタが保育園にやってきました~♪

サンタクロースさん  
プレゼントありがとう~!  
“ハイタ〜ッチ”



サンタクロース?  
何か、いい物もらったよ!!